

Peace of Galactic Cluster

天の川銀河 2

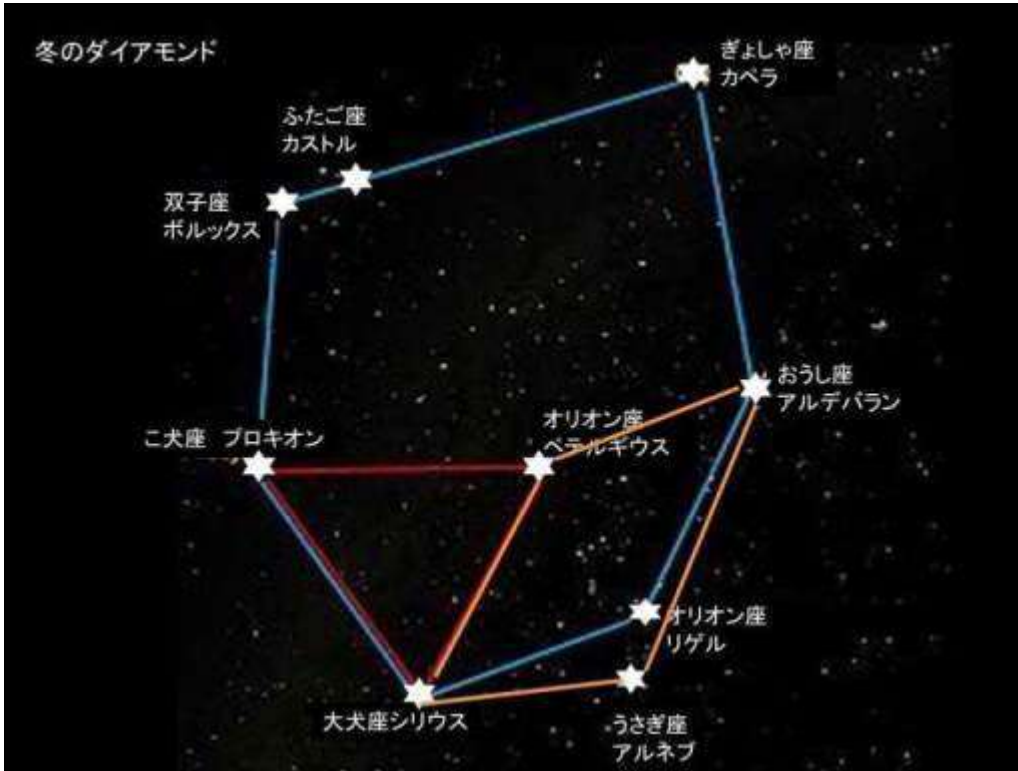
ペテルギウス星のダイヤモンド



オリオン座 ウサギ座 大犬座 小犬座

ふたご座 ぎょしゃ座 おうし座

ペテルギウス星のダイヤモンド メッセージ 生命創造を行う星々の救済



宇宙の光の新しいミッションの始まりです。

白鳥座とこと座のベガを含む「白鳥の六芒星」の正常な働きを戻し、アルタイル星を闇の支配から、取り戻した「宇宙の光」のメンバー達。

再び、自らのスピリットであるシエンロンと共に、あたらしい冒険に出かけます

今回はオリオン座のペテルギウス星のマスター&女神アテナからのお願いです

それでは、オリオン座のペテルギウス星を中心とした光のダイヤモンドについてお話をさせていただきます。
このシリウスを含む、ダイヤモンドに位置する星たちの働きは、オリオン座のペテルギウスにいらっしゃる創造主の力と光をそれぞれの星につながりによって増幅し、この宇宙に広げていく働きです。

確かに、地球から見た場合、星と星の距離は全く同じではありませんし、異なる角度から見た場合に、このダイヤモンドの形は正確ではありませんが、白鳥の六芒星と同じようにこれらの光りは、地球に降り注がれ、地球からまた宇宙へと広がっていきます。

このダイヤモンドの意味は、中心にあるペテルギウス星にある星の光、創造主の創造する力、エンパワーメントの力をこの宇宙に放射するためのものです。

創造主は、偉大なる大創造主のもとに、数名いらっしゃいます。

そして、大創造主から生みだされた創造主は、それぞれが担当する星域と役割が決まっています。

またこれら等の創造主たちによって、その星域に属する星の人達が生み出されました。

星の人達も純粋な創造主の遺伝子をもとに、その星に適応するように、他の星の人々の遺伝子など組み合わせて作られていくのです。

この話は、皆さんが、そのことを理解できる時期が来ましたら、しっかりとお伝えさせていただきます。

このペテルギウスのダイヤモンドにおいては、創造主の働きを助けるために、多くの星にそれぞれの叡智ある存

在が配置されました。

もちろん、何十万年という時間をかけて、創造主とそれをサポートする天使たちによって生み出され育てられていった結果、シリウス星に代表される銀河連合の中心的メンバーをつかさどるような星の人達が生まれてきたのです。

○ペテルギウスの門番 シリウス

このダイヤモンドを構成する星の働きについて少し説明しましょう。

シリウスは、門番です。このペテルギウスのダイヤモンドに、邪なエネルギーや星の人達が入らないように、このダイヤモンドを守護しています。

そしてこのダイヤモンドだけでなく、シリウスの手の届く範囲の星々も見守っています。

それぞれの星に住む人達が、自分達の意志で幸福に生活し、成長していく様子を見守り、必要に応じて私達の力を、その星に注ぎます。

その星に住む人達が、意識の成長と共に、その星に新たな次元を形作り、高次のレベルの星になっていく事を助けると共に、他の星からの侵略や不要な干渉を排除していきます。

銀河連合の他の星と協力して、秩序ある星々の関係を作っていくのがシリウスの役目です。

しかし、最近闇のパワーが増していて、シリウスやその仲間であるペガサス座等の人達だけでは守れなくなっています。

シリウスのアテネが多くの星を訪ね、自分と共に働く勇者や騎士団を探しています。

皆さんが多くの星を尋ね、宇宙の騎士団や勇者を導きつなげてくださったことにアテネは深く感謝しています。

しかし、この宇宙全域の規模では、まだ力が足りません。

どうかアテネにあなた方の力を貸してあげてください。

○小犬座 プロキオン星 アテナのサポート

プロキオン星にとどまらず、小犬座は大犬座のシリウスたちの活動をサポートします。

シリウスによって見守られている星にとどまり、その星の警護に当たるのが、小犬座の役目です。

小犬座は非常に純粋な叡智に守られています。

闇の力をはねのける光の盾を所有し、自らと星の人達を守ります。

○ふたご座のボルックス星とカストル星 2人の勇者

ふたご座のボルックスとカストルは仲の良い勇者です。

2人の性格はかなり異なりますが、2人の能力とパワーが一つになると、とても強大なパワーが生まれます。

そのパワーは、新しい星が生まれ、叡智ある存在が生み出されていく過程においてとても重要な役目を果たします。

ボルックスはその星の人達を勇気づけ、新しい生活や考え方、活動に対して積極的に取り組んでいく事を助けます。

カストルは、星の人達を癒し、自分達が行ってきたことを顧みる力をあたえます。

この2人の勇者たちによって、アテナの活動は支えられ広がりを持ちます。

新しい星が育ってくると、プロキオンのマスターと共にアテネに同行し、星の人々を見守り育てます。

○ぎょしゃ座のカペラ 癒しの女神

ぎょしゃ座のカペラの女神は、とても優しい癒しの女神です。

星の人達が、困難な状況に陥り苦しんでいるときに、その心と魂を癒し力づけます。

癒しの神殿によって皆さんの活動をサポートすることでしょう。

○おうし座のアルデバラン エンパワーメントの勇者

おうし座は非常に力強いエンパワーメントの星です。

皆さんに行動することのパワーと勇気を与えます。

また行動する中でのバランスや統合、また変容といったこともアルデバランが得意とすることです。

アテネの要請により、アルデバランの力が必要になったとき、援助に入ります

○オリオン座のリゲル

オリオン座は、もともとこのペテルギウスのダイヤモンドの中心となる星でした

創造主がいるペテルギウスとも同じ星座の中に属していますし、常にパワフルで輝きに満ちています。

リゲル星の働きは、惑星の自然や生命を育てることです。

リゲルの意識は、創造主によって生み出された星に降り立ち、その星の生育を助け、その星に生命が育つような自然環境を整えます。

その整えられた場所に、生命が生まれ、やがて叡智ある存在が誕生してくると、シリウスを中心とした星の意識がそこに入り、叡智ある存在を育てることとなります。

オリオン座の3つ星は、ペテルギウスの創造主の光を、生命を生み出す特別な光に変容するためにあります。

今リゲルは、闇の力によって支配されているため、闇の力が広がらないように、特別な力で封印されています。

しかし、彼らを光りに戻すことはできます。

偉大なる大天使メタトロン様の力により、そして皆さんの力により、オリオンのマスター達を光りの中で目覚めさせてください。

リゲルが再び復活することによって、このペテルギウスのダイヤモンドの力も再度復活します。

その時、この宇宙を守る大きな力が取り戻されるのです。

どうか皆さんの働きに期待しています

○ウサギ座 けなげな愛の女神

ウサギ座は、もともと気性の荒いオリオンを癒し、愛の気持ちを目覚めさせるために、神様が送られた存在です。

ただし神話でも、オリオンによって踏みつぶされてしまいました。

このウサギ座のマスターは、オリオン座のリゲルが目覚め、光に戻ることを助けてくれるでしょう。

ペテルギウスのダイヤモンド PART 1 生命循環を作り出す星々の秘密

○北極星の創造主に協力をいただく

白鳥の六芒星を開き、地球とつなぐ大きな光の通路を作り終えた私達は、アテナの指示によりペテルギウスのダイヤモンドを開く仕事に取り掛かりました。

オリオン座のペテルギウス星は、とても大きく輝きのある星です。
事前にアテナ様と共に、ペテルギウス星に伺い、ペテルギウス星の創造主の方にお会いしました。
そして星々の状況を確認したうえで、私達の行動は開始されました。

第1回目のツアーでは、まずペテルギウスのダイヤモンドに入る前に、白鳥の六芒星の創造主と大天使メタトロン様に協力をおねがいするために、小熊座のコカブ星へと向かいました。

金太郎の姿で私達を迎えてくれる大天使メタトロン様にご挨拶をして、大天使メタトロン様の宇宙の図書館に入れてもらいました。

私達のハートとメタトロン様のハートの光が一つになります。
私達のハートに宇宙の図書館の情報がどんどん入ってきます。

その後、大天使メタトロン様と共に北極星の創造主のもとにお伺いしました。
創造主は、とても大きくパワフルです。
私達がペテルギウスのダイヤモンドに取り組むこととお話すると喜んで協力してくださることになり、私達一人一人に魔法のワンドをくださいました。魔法のワンドはとてもユニークです。
その人にとって必要なエネルギーが、ワンドの形で表れてきます。
しなやかな生命力を表す木のワンドもあれば、能力を開発するクリスタルのワンドもあります。

私達は、創造主から、特別なエネルギーをもらった後に、この創造主の星&コカブ星から、ペテルギウスの入り口であるシリウス星に光の通路を作りました。
光の通路が出来上がると、その通路を通して、北極星の創造主の光が、ペテルギウスの創造主とその星々をサポートすることができます。

○大犬座のシリウス星 女神アテナの星

大犬座のシリウス星は、女神アテナの星でもあります。
私達がシリウスに向かうと、星の外側でアテナ様が待っていました。
ずっと待っていたのよ！という感じです。

私達は、すぐにアテナのギリシア風の神殿に入りました。
アテナの神殿の中には、アテナの癒し&エンパワーメントのプールがあります。
私達は、そこでゆっくりと心と体を癒しながら、アテナのパワーによって元気づけられます。
準備が整うと、創造主に挨拶を行いエンパワーメントしてもらうために、創造主のペテルギウス星へと向かいます。



○オリオン座のペテルギウス星 生命の循環をもたらす創造主の星

昨日作っておいた光の通路を使って、私達はペテルギウス星へと向かいます。

ペテルギウス星につくと、創造主の方が待たれています。

創造主と言うのは、この宇宙の根源を作られた大創造主から生み出された、各星域を担当される方の事を言います。星域ごとに星の役割が決まっています、星の生命を創造し育てるとともに、星が自らの役割を果たすことを見守ります。

ペテルギウス星の創造主の担当される星域は、このダイヤモンドに含まれる星座たちです。

この星域の役割は、星々に生命が生まれ育つように、星の環境を整え、水中生物や動植物をはじめとした生命を生み出し、叡智のある存在へと育てていく事らしいです。

ただ、その生命の循環を作り出す、ペテルギウスの輪の中心をなすリゲル星が闇の力の影響を受け、十分に機能していないことから、ペテルギウスの生命の輪の働きが発揮されていないとのことでした。

私達の役割は、ペテルギウスの星々に光の通路を作り、ペテルギウスのダイヤモンドに含まれる星々を再びつなぎ活性化するとともに、オリオン座のリゲル星を闇の支配から救い出すことにあります。

そうすることで、ふたたびペテルギウスの創造主の光が、生命の循環の輪を再び回し始めます。

私達は、ペテルギウスの創造主から光をもらいます。

創造主から光をいただくと、自分の額や体に創造主のサインが出てくることがあります。

私の場合は黄金色の六芒星などですが、人によって異なるサインがあります。

また創造主の光は、他のマスターの光と異なり、私達の眠っている能力を呼び覚ましパワーアップさせる働きがとても強いです。

創造主からのエンパワーメントを受けた後、次の星座、小犬座に向かいます

こいぬ座



天の川をはさんでおおいぬ座と反対側にあるこいぬ座は、小さくかわいい小犬の姿を表した星座です。2つの星だけで形作られる小さな星座ですが、1等星のプロキオンは、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウスと共に、冬の大三角を作っています。

○小犬座 プロキオン星 アテナのサポート

プロキオン星にとどまらず、小犬座は大犬座のシリウスたちの活動をサポートします。シリウスによって見守られている星にとどまり、その星の警護に当たるのが、小犬座の役目です。小犬座は非常に純粋な叡智に守られています。闇の力をはねのける光の盾を所有し、自らと星の人達を守ります。

○小犬座のプロキオン星 生命の魂の守護を行う星

小犬座はシリウス星のアテナ様のサポートを行う星です。

まるで親犬に付き添う子犬のようにアテナと共に働きます。

小犬座につくと、そこは、植物たちが点在する荒野のように見えます。

若い男性のマスターが現れますが、本当のお姿は、頭部が犬のような感じです。

まるでエジプト神話のアヌビスのようですね。

このアヌビスというのは、魂を守る神ともいわれ、亡くなった人の魂を冥界に運ぶ手助けを行うそうです。

プロキオン星のマスター達は、アテナが人々や生命ある者たちを見守る中で、生まれてくる魂たちの守護を行っていたのかもしれませんが。

この地球に存在する犬たちのルーツになったのは、まさに自分達であることを教えてくれました。

○ふたご座のボルックス星

次に向かったのはふたご座のボルックス星。

ボルックス星は驚いたことに、海の惑星です。

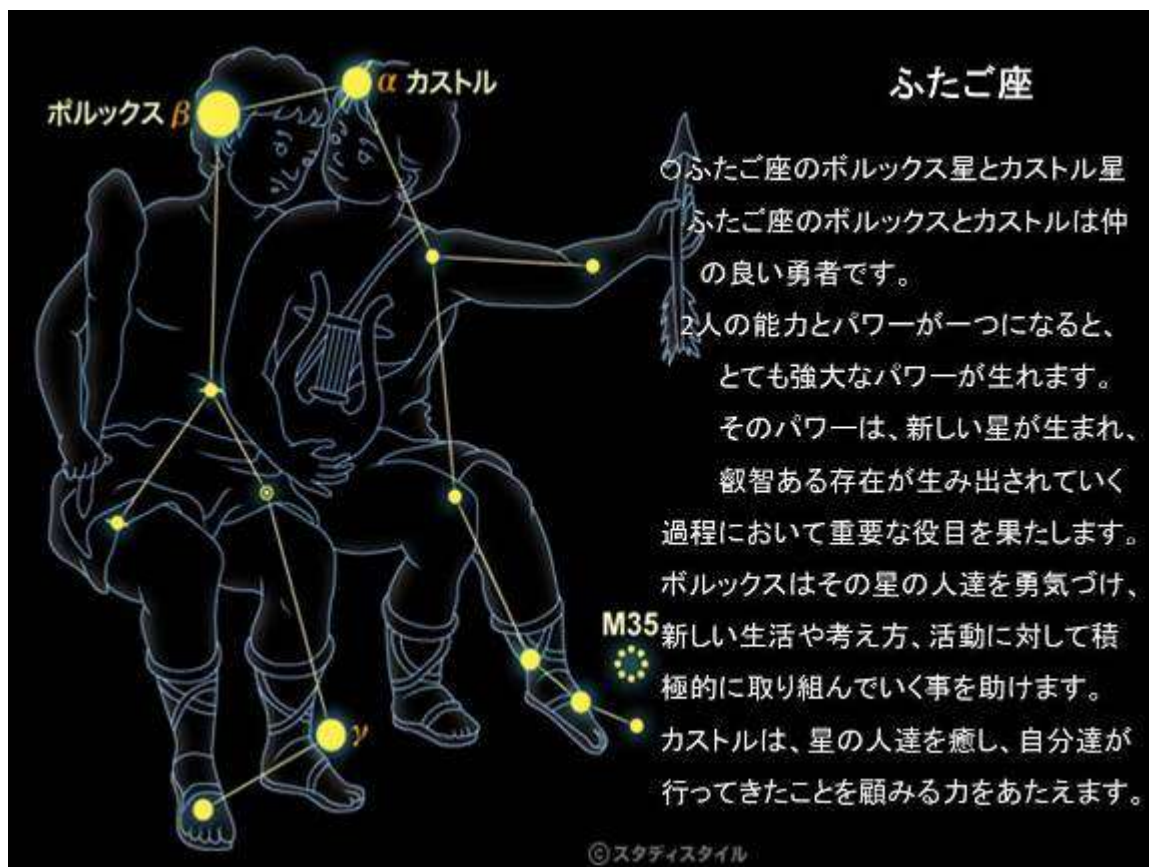
海の中に入ると、カニやエビなどの甲殻類やカメなどが泳いでいます。

何とも不思議な感じです。海底に大きな貝のようなものがあり、中に入れそうです。

さそり座のアンタレスに中を調べてもらっている間に、周りを泳いでいるカメに光を当て本当の姿を見せてもらいました。

するとカメはマーメイドに変わり、この星のマスターであることを告げます。

このボルックス星の役割は、星に生命をもたらすことだそうです。



ふたご座のポルクス星とカストル星
 ふたご座のポルクスとカストルは仲
 の良い勇者です。
 2人の能力とパワーが一つになると、
 とても強大なパワーが生まれます。
 そのパワーは、新しい星が生まれ、
 叡智ある存在が生み出されていく
 過程において重要な役目を果たします。
 ポルクスは、その星の人達を勇気づけ、
 新しい生活や考え方、活動に対して積
 極的に取り組んでいく事を助けます。
 カストルは、星の人達を癒し、自分達が
 行ってきたことを顧みる力をあたえます。

現在でも地球の深海の暗闇の中に生きる小さな甲殻類のような存在が、地球の水中生物や動物たちのルーツの一つになっているようで、それはこの星から送られてきた存在だそうです。

その小さな甲殻類が進化して、多くの魚類や動物を生み出してきたそうです。
 つまり、このポルクスは、生命の進化をつかさどる星のようです。

マーメイドと話をしている間に、アンタレス様が戻ってきましたので、みんなで、この通路に入り進みました。
 通路はとても長く、なにかポルクス星の別次元に続いているようでした。
 通路を抜けると、とてもまぶしい光りに満ちていました。その光の中に入ると、驚いたことに大天使たちが待っていてくれました。

大天使メタトロン様、サンダルフォン様をはじめ、4人ほどの大天使たちが私達をにこやかに迎えてくれました。
 この場所は、ポルクス星とカストル星につながる別次元の世界であり、創造主と協力しあって、各星における生命創造の計画を行っているそうです。

天使たちは、ここでこのペテルギウスのダイヤモンドの星たちが、再び一つにつながり、生命循環の輪が回り始めることによって、宇宙でも新たな生命を生み出す星が出てくるので、助けてほしいという事を言われました。

私達が行っていることの重大さに、しばし呆然とする私達でした。
 今日の探索はここまでにして、私達は、光の通路を通過して帰ることにしました。



おうし座

おうし座は、狩人オリオンに襲いかかる大きな2本の角を持った牡牛(おうし)の上半身の姿を表した星座です。

○おうし座のアルデバラン

エンパワーメントの勇者

おうし座は非常に力強いエンパワーメントの星です。

皆さんに行動することのパワーと勇気を与えます。

また行動中でのバランスや統合、また変容といったこともアルデバランが得意とすることです。

○おうし座のアルデバラン星 勇者の星

私達は、ペテルギウスのダイヤモンドの中でも、シリウスと並んで力強い働きをするおうし座のアルデバランへと向かいました。

アルデバラン星に降り立つと、ペルセウス様を伴っていたせいか、すぐに騎士団が現れました。

ペルセウス様とはとても仲が良いようです。

私達が来ることを待っていたらしく、喜んで私達と共に行動する事を約束してくれました。

この宇宙の中でも有数のパワフルな勇者たちが加わることにより、私達のパワーも増大です。

リゲル星の浄化に向かって、大きな前進をすることになりました。

○ケンタウルスの騎士との出会い

ウサギ座のアルネブ星は、オリオン座のすぐ下にありとても気になっている星です。

神話でも、乱暴者のオリオンに愛の心を持つように神様が送ってくれたウサギなのに、オリオンに踏みつぶされて死んでしまったという話があります。

またメンバーのところにも数日前から、救出を求めるメッセージが届いています。

私達は、この日リゲルの救出を前に、アルネブ星のマスターを先に救出することにしました。

この日はまずベガ星から入り、デネブへと行きます。

宇宙の光のメンバーのほかに、いつものペガサス騎士団のアトス様、さそり座のアンタレス様&シャーマン達、そして光の箱を持ったホビット、アウディケウス、アナスタシアも同行します。

デネブ星ではまず、フェアリーの女王アルターニャのもとに行きます。

アルターニャの神殿はいつも美しく優しい光りに満ちています。

そこでメンバーの一人が、私達にメッセージを送ってくるケンタウルス（半馬人）を発見しました。

話を聞くと、彼らのケンタウルス座も闇の力に少なからず影響を受けており、ケンタウルスも私達の事を助けますから、自分たちの星も救ってほしいとのこと。

彼等は、とても早く移動できますので、星の人たちを急いで運んだりすることが得意なようです。

また弓の名手でもありますので、とても力強い仲間がふえたことになります。

ただ、アウディケウス（ヘラクレス）との間には、悲しい神話が残っていますので、まずはアウディケウスとケンタウルスが和解のための祈りを捧げました。

男達の友情が復活した模様、感動です。

その後私達は、再度デネブ星のフェアリーの女王のもとで光をいただき、パワーアップすることにしました。

フェアリーの女王からは、正義のマントと闇に負けない力が秘められた指輪をいただきました。

これで準備完了です。フェアリーたちも、アルネブ星の救出に協力していただくことになりました。

○リゲル星を囲む光の壁を作ります

さて私達は、デネブ星からペガサス座、アンドロメダ座を移動しペルセウス座のミルファク星でペルセウス様と合流し、おうし座のアルデバランへと入ります。

アルデバランの勇者とは先日仲良くなって、アルタイル星の再建にも手助けをいただいています。

ここでアテナ様、大天使の皆様も交えて今日の作戦会議です。

今回は、アルタイル星の救出と再建の過程を踏まえて、最初から、闇を外に出さないように計画を立てます。

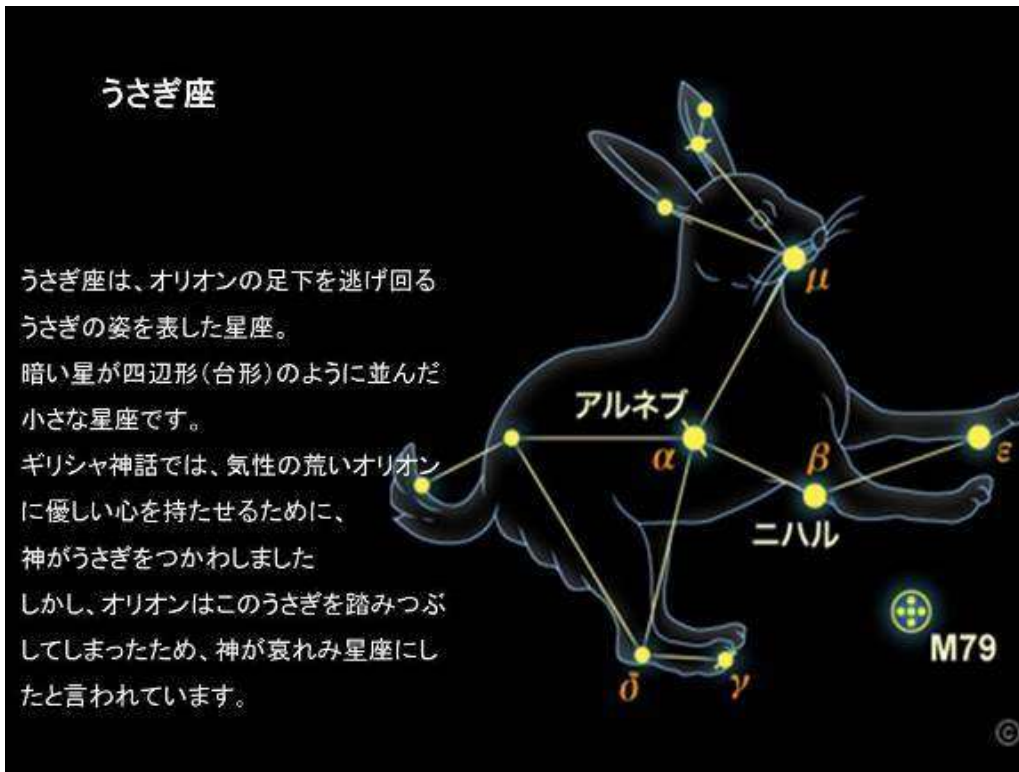
そのために、アルデバラン星から創造主の星ペテルギウス星、大犬座のシリウス星、ウサギ座のアルネブ星をつなぐ四辺形の光の壁を作り、オリオン座のニゲルを囲い込み、ペルセウス様に見張っていただくとともに、その中に黒水晶を置き闇のエネルギーの浄化を始めます。

私達は、まずアルデバランからペテルギウスに移り、創造主様にご挨拶をするとともに、創造主様のエネルギーを受け取ります。

そしてシリウス星、アルネブ星、アルデバラン星と光の通路を作り、その通路をシエンロンが高速で走りぬけるとともに、ホビット達の力により闇を閉じ込めるための光の壁を作り上げていきます。

この光の壁によって、前回のように、闇が他の星に逃げて、その人たちを傷つけるようなことは起こらなくなります。

ペテルギウスのダイヤモンド PART 3 アルネブ星の闇を光に変える



○アルネブ星、その悲しみの姿

今回のツアーの目的は、アルネブ星のマスターの救出です。

私達は、アルネブ星の闇を浄化するために、ホビット達によってつくられた闇の浄化用の箱を、魔法で巨大化させます。

そして、アルネブ星を光の箱で大きく囲み、その箱をとおして、アルネブ星へと光を送ります。

ツバーン星のマスター・ドラゴンは、先に光の箱の中に入り、アルネブ星の闇を浄化します。

光の箱の中に、真っ黒い闇がどんどん広がっていきます。

宇宙の偉大な大天使たちに協力してもらい、私達は箱の外から、ワンドを使用して光を送ります。

大きな光がアルネブ星を包み始めます。

アルネブ星からだいぶ黒い闇がなくなった頃を見計らって、私達も全員アルネブ星に入ります。

そこには、とても衝撃的な光景が広がっていました。

私達が降り立った近くには、とても悲惨な状況のニンフのような女性が、傷ついた様子で立っています。

この女性をまず救援することになりました。

みんなで、フェアリーの女神からいただいた指輪とワンドを使用して、その女性に光を送ります。

そして、その後に、私のハートの中に呼び入れ、彼女の魂を癒しました。

そして争いがあった時の様子を語ってくれました。

闇が襲ってきた時に、闇と争い闇を憎み、復讐心で心がいっぱいになった時に自分たちも闇となり、光を失ってしまったことを伝えてきました。

そして、周りを見渡すと荒廃した大地の上に、彼女と同じような傷ついたニンフ(精霊)達が、たくさん倒れてい

ます。

私は、大天使たちを呼び、急いで救援してもらおう事にしました。
宇宙から数えきれないほど多くの天使達が、この星に降り立ち、それぞれのニンフのもとに行きます。
そしてアスクレピオス様を呼び、ニンフやこの星の存在達の看護をお願いしました。
先ほど仲間になったケンタウルス（ケイロン）達が、急いで傷ついたニンフたちの運送を始めました。

○アルネブ星を襲った闇の正体、それは、満たされない愛

私達は次を急ぐことにしました。
メンバーの一人が、この星の地下に何かがあるという事を告げてきました。
私達の正面には、地下に続くような、暗い洞窟があります。
さそり座のアンタレス様とアウディケウス様にその通路を見てきてもらう事にしました。
それまでは、私達はこの星の傷ついている精霊たちに光を送ります。

2人が洞窟を調べて戻ってきました。いくつかの問題があったようですが、彼らが処理してくれたようで、私達は中に入ります。

途中で、暗く闇に覆われた存在と出会いました。
別に私達に危害を加える様子もないので、その存在をホビットの光の箱で囲み、みんなで光を送りました。
箱の中にどんどん闇が吸い出され浄化されていきます。
しばらくして、その存在は若い男性のような姿に変わりましたので、私のハートの中に入れ癒しました。
すると、彼はアルネブが闇に覆われた原因を話始めました。
彼はもともと、オリオン座のリゲル星から、リゲル星の環境が合わないという事で数名のグループでリゲル星を出てこのアルネブ星に移ってきたようです。

このアルネブ星はほとんどが女性の精霊たちでとても優しい波動に満ち溢れています。
若い男性グループは、このアルネブがとても気に入り、精霊たちに恋をしました。
しかし精霊たちは、彼らがリゲル星でうまく生きていけずに逃げ出してきた劣等生であることを知って、彼らを受け入れることをしませんでした。
基本的にリゲル星の存在とアルネブ星の精霊たちでは、かなり波動が異なりますので受け入れることが困難だったようです。

その様な中で、リゲル星から来た若者たちは、力づくでアルネブの精霊を従わせようとしてきました。
満たされない愛情を埋めるために、アルネブ星の精霊との間に大きな摩擦が生まれてしまいました。
そして、彼等の愛情が間違えた方向に走ってしまい、彼らの中に闇が生まれてしまったのです。
その闇は、アルネブ星の精霊たちを支配し自分のものにしようとします。
アルネブ星の精霊も、その闇を恐れ戦いました。
そして多くの精霊たちが傷つき犠牲になったようです。

アルネブ星の精霊は、彼らと闇を憎み、復讐心にその心を支配され、精霊の中にも闇が生まれました。
その闇は、アルネブ星の惑星意識にも大きな影響を与えてしまったようです。

リゲル星から来た若者たちは、自分たちがしたことを悔やみアルネブの精霊に謝罪し償いをしたいと言いました。

○アルネブのマスターの救出

私達は、彼を残し先に急ぎます。一刻も早くアルネブ星のマスターを助ける必要があるからです。

その通路を先に進むと、少し広いところに出ます。

そこにマスター達が、自らを固い殻で覆い、誰からも手出しができないような状態で存在しています。

しかし自分自身でも、その殻の中から出ていく事ができないようです。

私達は、その固い殻に光を当て、硬い殻を破りました。

その中から、私達にずっと救いを求めていたアルネブ星の女神が現れました。

女神たちはずっと助けが来ることを待ち続けたいたようです。

その女神の周りにも岩などに姿を変えた女神たちがたくさんいるようです。

先ほどの女神が、みんなに合図を送ります。私達も女神達へ光を送ります。

この時、大天使から「早くこの星の中心に入り、惑星の光を蘇生させてほしい。

そうすることでこの星に光が満ち、女神たちはもちろん、傷ついている精霊たちも早く元気になる。」という指示が来ました。

私達は、アスクレピオス様とその特殊部隊にお願いして、この惑星の心臓部に根を張る闇を取り除いてもらう事にしました。

そして、私達は、大天使ラジエルにお願いして、この惑星の中心と降りていく階段を開いてもらい、惑星のマザークリスタルへと向かいます。

○アルネブ星のマザークリスタルが輝き始める。

階段を下りていくと広い空間に出ました。

そこにはマザークリスタルと思われる大きなクリスタルがありますが、傷ついていて元気がありません。

メンバーの一人が、女神からいただいた「光の種」をクリスタルに埋め込みました。

クリスタルに光が満ち、元気になっていきます。

そして、もう一人のメンバーが持っている「六芒星のスイッチ」をクリスタルの上に置き、そのスイッチを大きく拡大して、みんなでそのスイッチを押します。

すると皆のハートの光が輝き、クリスタルをさらに輝かせます。

私達は、このアルネブ星に集まっている天使やマスター、騎士団、光の存在達をこの惑星の中心に集めて、一緒に祈ることにしました。

アルネブ星の中心に、膨大な数の存在が集まり祈りました。

するとこのマザークリスタルも一段と大きく輝き、この惑星全体を光で囲み始めます。

その様子を、千手観音の千の手が惑星を取り囲み輝かせている様子に見えたと言っているメンバーもいます。

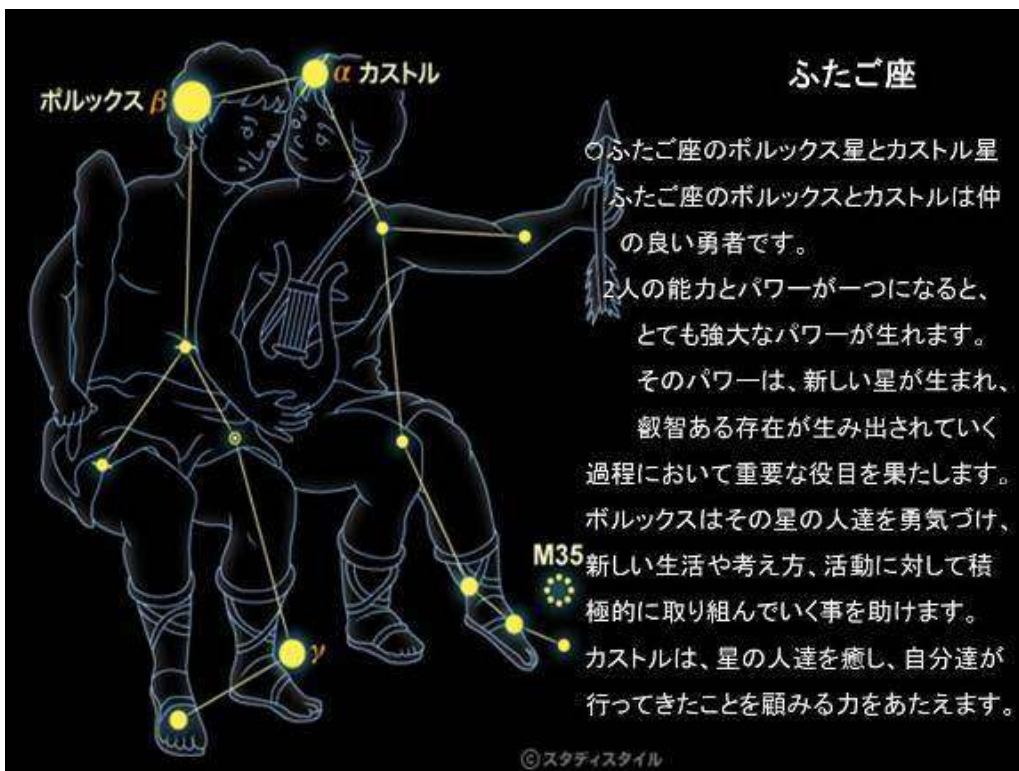
私は、アルネブ星に、星の光のネットワークを作るために、ペテルギウスのダイヤモンドを形作る星々に、アルネブ星に光を送るように呼びかけます。

大犬座のシリウス、小犬座のプロキオン、ふたご座のポルックス、カストル、おうし座のアルデバランの星々が輝き始め、光を送り始めます。

多くの星々がアルネブ星に、お帰り！よかったね！と声をかけている様子です。

これで、アルネブ星も一安心。まだ星の再建が残っていますが、次はオリオン座のリゲル、先に進みましょう。





○双子座のカストル 風の中の生命創造をつかさどるトート神

先日のツアーでは、急きょウサギ座のアルネブ星のマスターの救出に向かい、無事マスター達を保護することができましたので、今回は、再びペテルギウスの仲間たちの星を訪ねることにしました。

前はふたご座のポルックス星までまわり、その星の上にある天使たちのオフィスまで尋ねましたので、今日はふたご座のカストル星からです。

ポルックス星は、海の中にある世界が広がり、魚たちやマーメイドたちが主人公の星でした。まさに海の中にある生命創造の世界を見せてくれる感じでしたね。

今日訪れたカストル星は、風の世界です。私達が最初に降り立った場所は、まるでアメリカのセドナのような岩肌の世界、ところどころに樹木や草が点在します。

しかしながら星の上を巡っていると、緑豊かな森も見えます。とても地球にそっくりな星です。

そのマスターは、体は人ですが、顔はくちばしの長い鳥のような顔です。
エジプト神話に出てくるトート神です。トート神とは、私は以前から交流がありました。
私の初期の頃のチャネリングメッセージの送り手であったのが、トートなのです。

彼は、このカストル星で、風に舞う存在達を育てていると言います。
もちろん鳥や羽をもつ虫などの生命です。
ポルックス星が、水の中の生命創造だとしたら、カストル星は風の中の生命創造のようです。

トート神は私達に、風の生命の特質を教えてくださいました。

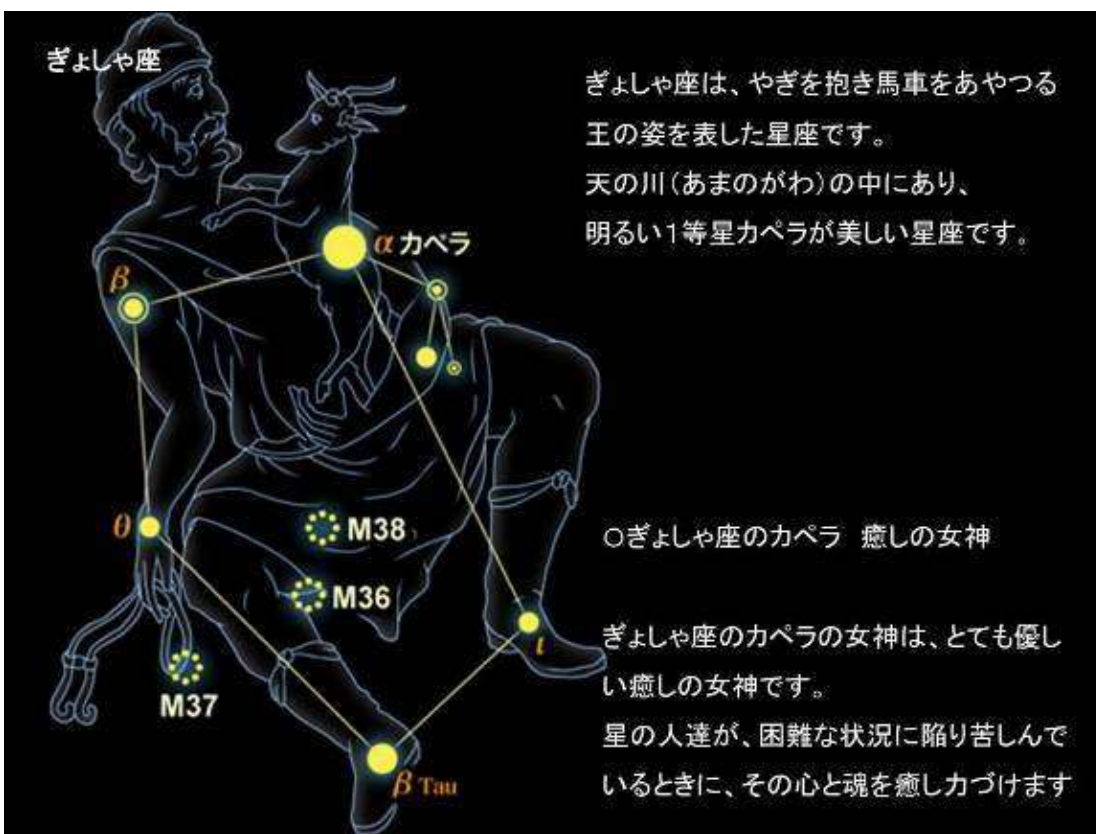
そして、私達人類には、羽がないので独自に飛ぶことができないのだが、生命の自由は十分に活用することができるという事で、高い山の溪谷の上に立ち、私達の精神の飛翔を行う方法を教えてくださいました。

トート神は偉大なる時間と空間のマスターであり、生命あるものの叡智をつかさどります。

このトート神との出会いは、私達にとっても大きな助けとなりました。

たとえば、私達が今使っている光の箱も、四角形の箱でなく、ピラミッドを上下に組み合わせたマカバタイプにすることも教えていただきました。

別の機会に、この星を訪ねたときも、トート神はエジプトの十字であるアंकを使用して、その人のこだわりやとらわれから自由になる方法を教えてくださいました。



○ぎょしゃ座のカペラ 偉大なる癒しのマスター イシス様

ペテルギウスの星のマスター達は、エジプト神話の神のイメージを伴って現れることが多いのですが、ぎょしゃ座のカペラ星にいらしたのは、イシス様でした。

イシス様とは、他の星でもお会いしているのですが、このカペラ星のイシス様は、主に生命の癒しを担当されるようです。

イシス様の後ろには、エジプトの神殿風の建物が建っており、そこがイシス様の神殿のようでした。

イシス様は、私達の旅には同行せずに、癒しが必要な存在、負傷している存在があれば、私達が受け入れますとおっしゃってくださいました。

私はアルネブ星の住人の事がとても気になっていましたので、イシス様の協力をいただけることがわかりましたので安心です。

○再び、ウサギ座のアルネブ星へ

前回、ウサギ座のアルネブ星のマスター達の救出を行い、多くの負傷者を、アスクレピオス様の治療院に運んでもらいましたが、まだ負傷者がたくさんいるようなので、私達は再度、アルネブ星へと行く事にしました。

アルネブ星では、マスター達が待っていてくれましたが、やはりまだ元気がありません。

星の空気もどんよりとしています。

私達は再度、アルネブ星に光を送ることにしました。

ペテルギウスの星々の力を借り、光をアルネブ星に送ってもらうと、アルネブ星のパワーがどんどん満ちていくようです。

私達は、アルネブ星のウサギさん達を急いで、カペラのイシスの神殿へと運ぶことにしました。

声をかけると、いろんな場所から、ウサギさんの姿をした人達がたくさん集まってきました。

おそらく他の次元に逃げていた人たちも戻ってきている様子です。

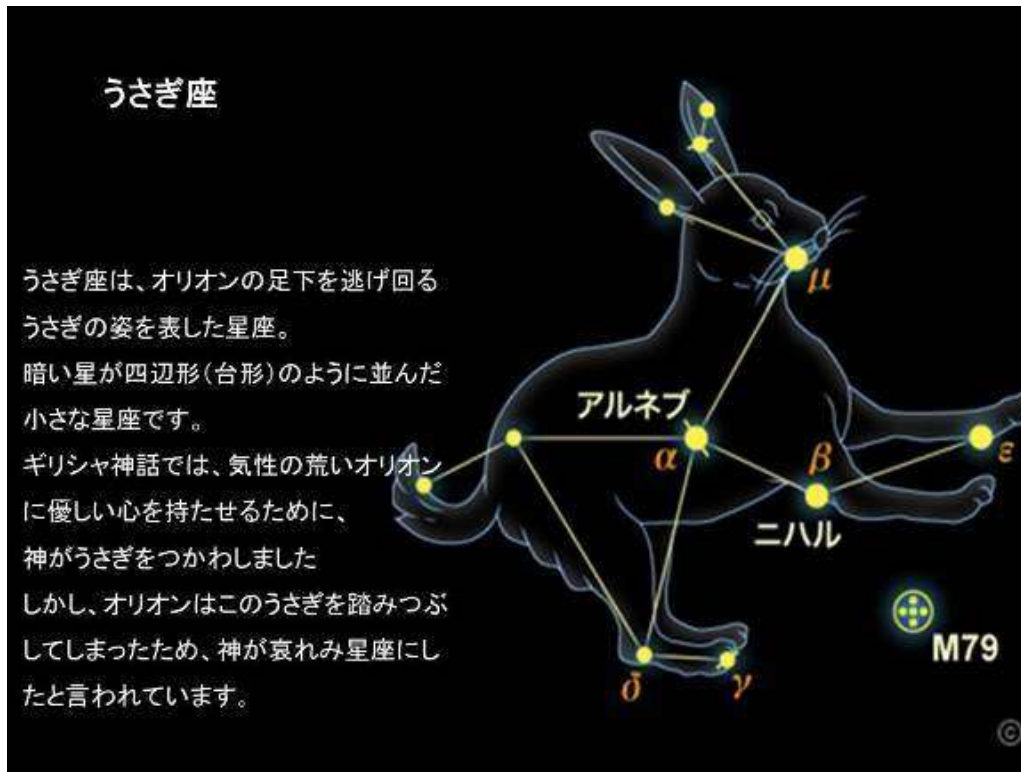
私達のシエンロン、ペガサス騎士のペガサス、ケンタウルス達に乗せてもらい、何回かに分けて運びました。

イシス様の神殿が、ウサギさん達であふれかえっているのではないかと心配です。

今日のツアーでは、ペテルギウスのダイヤモンドの残った星もすべて尋ねることにより、このペテルギウスの星たちはすべて光の通路でつながれました。

リゲルに入るための準備もどんどん進んでいます。

でもまだ気になることが・・・



○ウサギ座のニハル星 闇に傷ついた星

私が気になること、それはウサギ座のほかの星です。

アルネブ星は、リゲルから来た存在によって、満たされない愛の感情から、闇に落ちることになりました。

しかしウサギ座の悲劇は、アルネブ星にとどまらないようです。

アテナ様に確認したところ、ニハル星も闇の支配を受けているという事でしたので、アルネブと同じような惨状が広がっている可能性もあります。

今回はニハル星に入ることにしました。

まずニハル星をマカバ型の光の箱でつつみ、星に光を与えます。

すると星の内部から、黒い煙のようなものがどんどん放出されていきますので、全員で光の箱に向かって光を送ります。

ツバーンのマスター・ドラゴン達は、先に星に入り、星の浄化を行います。

しばらくして、光の箱の中の闇がだいぶ薄れたところを見計らって、私達は星へと降り立ちます。

星全体が、とても暗く重たい雰囲気です。

しかしアルネブ星と違って、闇とたたかった様子はあまりないようですが、シエンロンやペガサス騎士団は、傷ついている存在を見つけて、ぎょしゃ座のカペラ星へと運んでいるようすです。

メンバーの一人が、マスターが岩陰にいるようなビジョンを伝えてきましたので、全員で探します。

それらしい場所が見つかりましたが、マスター達の存在が見つかりませんし、入り口もありません。

そこで大天使ラジエルにお願いして、地下へと続く階段を作ってもらいました。
その階段を下りていくと、少し広い場所に出ましたが、周りは石の壁で囲まれています。
中央にある大きな岩に光を当てると、岩が砕けて、そこから一人の小人のようなマスターが出てきました。
小人のマスターはこの場所で、ニハルの存在達を守っていたそうです。

○ニハル星を守っていたマスター達

崩れた岩の後ろには、道が2つに分かれていました。一つは、ニハル星の別次元に続く道。
もう一つはニハル星の内部に続く道です。私達は、ニハル星の内部へと進みました。

するとそこには、大きな岩のように見えるクリスタルがあります。
これがおそらく、ニハル星のマザークリスタルでしょうが、つたが絡み、力を失っているようです。

このクリスタルの上に剣を置き、そこから光を入れます。
全員で周りを囲み、光を当てるとクリスタルが中から輝き始めます。
そして、クリスタルの中や周りから、数名のマスター達が現れてきます

おそらく、闇の勢力が手出しができないように、自らマザークリスタルの中に入り、クリスタルを守っていたよう
です。

マスター達は、自分たちを見つけ出して助けてくれたことに感謝をするとともに、このクリスタルの光を広げるこ
とを頼んできました。

私達はこのクリスタルを取り囲み、ワンドを使ってクリスタルに光を送ります。
クリスタルの輝きは強くなり、その光は部屋1面に満ちてきました。

そして、私達は多くの仲間を呼び寄せ、このクリスタルの光が広がり、ニハル星全体を満たすように祈り続けまし
た。

ニハル星がどんどん輝きをまし、惑星としてのエネルギーが高まっています。

○純真がゆえに闇に支配された星

ニハル星のマスター達が、私達にニハル星で起こったことを教えてくれました。
それによると、アルネブ星と同じように、リゲルから人々がやってきたそうです。
ニハル星の人たちは、とても純真で疑う事を知らない人達ばかりでしたので、ニハル星の人たちはリゲルの人を受
け入れもてなしていました。

すると、リゲルの人たちは、自分たちはこの星を簡単に支配できると思ったのか、態度が大変横暴になり、自分の
欲望のままにふるまうようになりました。

その様な状態を見て、私達はニハルの人々に警告をしましたが、あまりにも純真すぎて逆らうことができないニハ
ルの人たちは、彼らの思うままに操られていきました。

そして、傲慢になったリゲルの人の心に闇のエネルギーが入り込んでいったのです。

リゲルの人たちは、気が狂ったように乱暴になり、ニハルの人々を傷つけ始めました。
私達は、このような状態を止めたいと思いましたが、それもできません。

そのような時、ほかの星から「3賢者」と呼ばれる方たちが、ニハル星に降り立ち、私達を救うために努力してくれました。

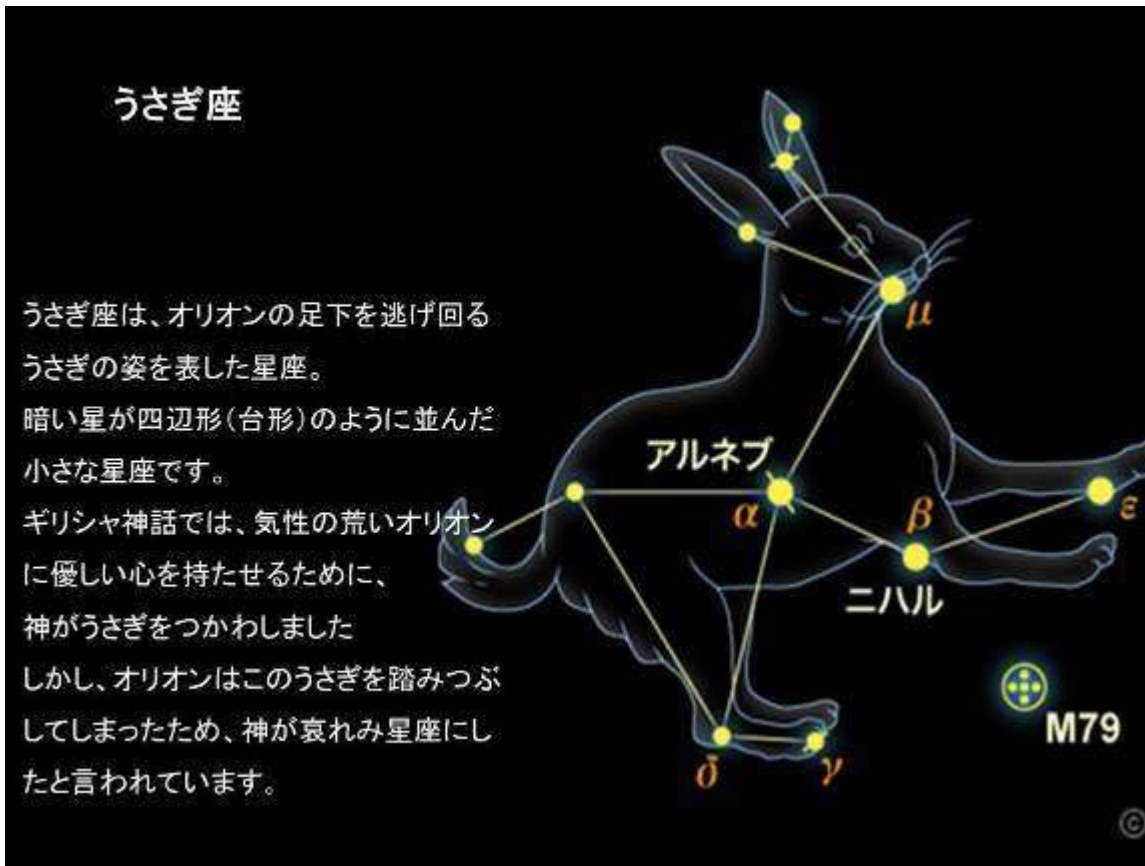
しかし時すでに遅く、闇の力がこの星を覆っていたため、彼らはニハルの人たちを救うことができませんでした。
3賢者の人たちは、自分たちの無力感とニハルの人たちに対する罪悪感で、彼ら自身もまた闇にとらわれてしまいました。

そして、私達もなすすべがなく、多くのものは他の次元や星に逃げましたが、私達はこのマザークリスタルを守るために、このニハルのとどまり、長い時間をクリスタルと共に、過ごしました。

そして、やっとあなた方が、このニハル星にやってきてくれたのです。

とニハル星の女神は、涙ながらに、私達に訴えてきました。





○闇の虜となった人達

その話を聞き終えると、私達はマザークリスタルの部屋から地上に出て、闇の存在達を探しました。そして大きな岩のような闇に閉ざされた場所を見つけました。それは岩のようにも宇宙船のようにも見えるものでした。おそらくリゲル星から来た人たちが使っていたものかもしれません。その中に、リゲル星から来た人達が閉じ込められているか、あるいは閉じこもって入るようです。

私達は、その岩のようなものを取り囲み、光を送りました。光を送られると黒い闇の塊のようなものが壊れ始め、中から船が現れました。その中に、誰がいるのかどうかもわかりません。その時トート神が現れました。トート神がこの船のようなものを預かるという事で、その船を大空高く持ち上げ運んでいきました。それから、私達はもう一つの闇を探しました。

○闇の遺伝子と光の遺伝子を一つにする

それはメンバーの数名が、闇の渦巻きをこの星に見ていたからです。闇は、大きな渦巻きによって、闇の世界とつながります。その渦巻きが、闇の通路となっているようです。この渦巻きがあるところに、闇に関係したことが起こっているはずです。

私達も、闇の渦巻きと直接向かい合うのは初めてです。緊張感。

遠くの山の向こうに渦巻きが見えていましたので、皆でそこに行きました。

渦巻きの中にそのまま入ると大変危険なので、時間と空間をつかさどるトート神にお願いして、時間を止めてもらい、渦巻きの動きをしばらく止めてもらいます。

渦巻きは地下に続いているようでしたので、魔法で階段を作り、地下深く入って行きました。

底には驚いたことに、木の根っこに絡められて、全く動くことができない3人の人達がいました。

かろうじて生きているのか、ぐったりとして全く動けない状態です。

すぐに医者のアスクレピオス様を呼ぶと同時に、その木の根にどんどん光を当てていきます。

この3名が、ニハル星を助けに来てくれた3賢者であることに間違いのないようです。

すぐにアスクレピオス様の治療院に、ケンタウルス達が搬送しました。

3賢者が去ると、その上にぽっかりと大きな闇の渦巻きが見えます。

私達は、渦巻きの下から、ワンドを使って渦巻きとは反対方向に光を送ります。

天使達を始め多くのマスター達もサポートに来てくれます。

そして TAKESHI は、渦巻きの中にすーと入り、人間と天使の光の遺伝子をその中に放出します。

光の遺伝子たちは、闇の遺伝子たちと出会うと、火花が飛び散るように、光を発してはじけあいます。

すると、闇の渦巻きは、バチバチと音を立てて消えていきます。

しばらくすると、渦巻きは、ニハル星の地上から遠のき、静かなエネルギーが戻ってきたようです。

私達は、闇の渦巻きと対面するのが今回は初めてでした。

ただ、闇の渦巻きといっても、3賢者の中に生まれた渦巻きなのでさほど大きくはありません。

今回、大天使達やマスターと、闇を光りに統合する方法を話し合ってきました。

もともと、闇も宇宙の創造主が創られたこと、そして欲望に満ちた人間と天使の遺伝子を、その中に取り込み、自己増殖と多次元を自由に往来できる能力、そして人や叡智ある存在の心と協力を結びつき、相手の心を支配する能力を持っていることを知らされていました。

天使や、マスター達にはこの闇の勢力に対する対応策がまだ十分ではなく、この闇と光を統合し、新たな光とするためには、天使と人間の2つの光の遺伝子を持つ私達の働きが必要になるそうです。

そして今回行った、闇の渦巻きの中で、光の遺伝子を解き放ち闇の遺伝子と一つにすることで、闇の渦巻きを消し去ることはできました。

とりあえずこの方法は、理論的には有効な様ですが、果たしてさらに巨大な規模の闇の渦巻きには有効なのか、闇の渦巻きの中に簡単に入れてもらえるのか、さらに課題は残りますが、闇と光を統合する方法の確立という意味では、素晴らしい成果が出せたと思います。

そして大切なかわいいうさぎさん達も助けだすことができました。



○リゲル星を救済するための作戦が始まります。

私達がリゲル星に入る日がついにやってきました。このリゲル星は、今まで入った星とまったく違います。それは今までの星は、闇の支配によって荒廃した星ばかりで、もうすでにそこには活動している闇のエネルギーはさほど残っていなかったからです。

しかしこのリゲル星は、まだ闇による支配が行われており、非常にネガティブなエネルギーを発生しています。事前の偵察でも、私達にとっては、スラム街のように暗く雑然とした街や不気味な姿かたちをしている存在達が徘徊している様にも見えます。

この星は、地球と同じように、物理次元の世界を持っているようで、物理世界からいくつもの多次元の世界が重なり合って存在しているようにも見えます。

リゲル星に入るために、事前に作戦会議を行いました。やはり私達が直接入ることは危険という事で、いくつもの段階を踏まえてこの星に入ることになりました。

そして数名の創造主の方たちからも、大切なアイテムをいただきました。

- 1、闇の視線から私達の身を隠すマント
- 2、闇と光を統合するための剣
- 3、星に光を送るためのワンド
- 4、闇のエネルギーを閉じ込め光を送る虹色の雲

魔法使いマーリンからは、傷ついた人たちを助けるための救急薬などです。

私達はガイアのホビット達に、これらのアイテムを渡して、メンバー全員が使用できるようにコピーを作ってもらい、メンバー達に装備させました。

当日は、まずペテルギウスの星の創造主のもとに集まり、メンバー達と作戦の確認を行った後に、創造主から光の

エネルギーをいただき作戦開始です。

○リゲル星に向かう騎士団と光の存在たち

最初に行ったことは、創造主からいただいた虹の雲を使用した新しい光りの箱で、リゲル星を取り囲みます。ホビット達と魔法使いグループでその箱を大きくして、リゲル星を取り囲み、全員で光を送ります。こうすることで、リゲル星を覆っていた闇のエネルギーがどんどん吸収され、リゲル星が明るくなります。

次に、宇宙の勇気ある優秀な騎士団を、リゲル星に送り込みます。

巨大なツバーン星のマスター・ドラゴン達を先頭に、ペガサス騎士団、さそり座のアンタレス騎士団、おうし座のアルデバラン騎士団が続いて入ります。

光の弓矢を手にしたケンタウルスの一団は、上空から光の矢を放ち援護を行います。

そして、闇を光に統合するスペシャリスト達もはいります。

大天使ミカエルの軍団、不動明王と祓戸大神の一族、勇者アウディケウス、勇者ソロモン達です。彼等は、騎士団と共に、多くの闇に支配された存在達に光を送り、闇のエネルギーを浄化します。

私達と医療チーム、星の再生チームはその様子を上空から見守り、リゲル星に光を送り続けます。

私達のメンバーにも、こっそりと星の様子を見に行ってもらいましたが、騎士団たちにこれ以上星に近寄ると上空でストップさせられました。

しかし上空から見た地上の世界もとても悲惨な状態で、気分が悪くなったようですぐに戻ってきました。

しばらくすると、マスター・ドラゴンや騎士団の働きで、リゲル星の闇がどんどん晴れていくようです。リゲル星にも光が届き始めたかもしれません。

○リゲル星に光のクリスタルを埋め込む

そこで次の作戦に移ります。リゲル星に巨大なクリスタルを埋め込み、星のエネルギーを強化することです。

私は、今回のセッションのために、クリスタルといくつも丸石をセッティングしてありましたので、そのクリスタルのエネルギーを魔法使いたちによって増幅してもらい、地上の騎士団たちによって埋め込んでもらいます。

このようなときに力になるのが、神聖幾何学が得意な大天使メルキゼデク様です。

最初は丸玉を使って、地上に六芒星を描きます。

ローズクォーツやラブラドライト、カルサイト、フローライトなどの多彩な石のエネルギーを使用して、リゲル星に六芒星を描いていきます。

次に、メインのクリスタルを使用して、リゲル星にピラミッドを上下に重ねたようなマカバ型の幾何学上にクリスタルを配置します。

クリスタルのエネルギーを魔法で巨大化して地上に送ると、地上で巨大なクリスタルに変わります。

それを騎士団たちが、リゲル星にしっかりと埋め込み、リゲル星のエネルギーを安定させるとともに、星の中心にあるマザークリスタルの光を増幅し、この惑星全体に広げていきます。

そうすることで、リゲル星の闇を、惑星の力によってどんどん浄化していく事ができます。



○リゲル星、最初のマスターは動物たちの生命を創造する女神

リゲル星は、シエンロンや騎士団達、魔法使いたちのおかげで、だいぶ闇がはれ、私達が降り立てる状態へと変わってきました。

最初に降り立ったのは、荒野の中の洞窟のような場所ですが、そこには傷ついた巨人たちがいて、何か神聖な場所を守っているような感じです。

巨人たちに、お願いしてクリスタルの場所へと案内してもらいましたが、そこには小さなクリスタルしかありませんでしたので、私達はこの星を助けるために来たことを彼らに伝えました。

そうするとようやく私達の目的がわかったようで、洞窟の壁を壊し、通路を作り奥の場所へと私達を導きました。そこには、黒くなり力を失ったクリスタルが眠っていました。

私達はクリスタルに光を送り、六芒星のスイッチでクリスタルのパワーを取り戻しました。

するとそこには、ペレナと呼ばれる女神が現れました。

彼女はこの星のいくつかの次元（働き）の中でも、動物等の生命の源となる女神の一人だそうです。

彼女が、リゲル星の事を語ってくれました。

リゲル星では、リゲル星のメインとなるマザークリスタルを守るように7つのサブクリスタルがあり、そこをそれぞれのマスター達が守っていたのですが、その中の2人が、この星の支配権をめぐる争い、この星に混乱と破壊をもたらしたという事でした。

本来ならば、星とその星に生きる生命を守るマスター達が、闇に飲み込まれていったのおかげで、リゲル星は急速に輝きを失い、闇の手に落ちていったという事です。

マスター達は強大なパワーをもって争ったために、他のマスターからの警告やサポートも聞かずに、かえって他のマスターを支配しようと、自分たちのパワーの乱用をおこない、この星を闇が支配する星へとしてしまったのです。

この星の様子を嫌って、リゲル星から逃げ出した人たちもいましたが、その人達の心の中に、闇の種が残っていたために、その人達がまた他の星で、闇を呼び込み星を荒廃させることになってしまいました。

そのために、創造主達から、この星は閉ざされ、外に出ることも、また外から入ることもできなくなったそうです。

女神ペレナはそのように語ると、とても悲しい顔をしました。

私達は地球からこのリゲル星を闇から助けるために、この星に来たこと、そして宇宙の多くのマスター達や天使たちが共に働いていることを伝えました。

ペレナはその話を聞くと、心に希望の灯がともされたように明るい笑顔を見せてくれました。

そして星の女神たちを助けたいという私達の思いに涙を浮かべ、私達と共に進むことを希望してくれました。

○水の生命の女神を愛で癒す

ペレナが案内してくれたのは、マーメイド達が住んでいる森の中の湖です。

森といっても、周りの木々は焼けたり枯れ落ちたりしていて生命力がありません。

森の動物たちも、どこかに姿を隠しているようです。

黒々とした湖の水をどうにかしないといけません。

私は、新しく仲間になったガネーシャを呼び出し、この水を何とかするようにお願いしました。

巨大な体を持つガネーシャは湖の中に鼻をつけ、湖の水をどんどんくみだしていきます。さすが象の神様です。

湖の水がなくなるとその下に通路がありました、念のため騎士団に様子を持ってもらってから、私達も入ります。

すると、そこに大きなクリスタルがありますが、泥に汚れて輝きを失っています。

ハスの花に囲まれたようにしてクリスタルは、たたずんでいます。

私達が光を送ると、クリスタルも輝き始めました。

中に小さな女神が、閉じこもっているのが見えますが、女神は出てこようとしません。

先ほどの女神ペレーネも一緒になって呼びかけてくれますが、ただ女神の悲しみだけが伝わってきます。

ようやく、クリスタルの女神が目を開き、私達に思いを伝えてくれます。

「マスターを支配する闇の力によって、森が焼かれました。

多くの植物も動物も、魚たちも犠牲になってしまったのです。

傷つけられた生命達を癒してください。この森を愛の力で癒してください。」

きっと自分たちの家族のような森と森の生命達が、火によって焼かれ傷つけられている悲惨な光景を目の前にして、女神は気も狂わんばかり嘆き悲しんだことでしょう。

私達の事も信頼することができずに心を開いてくれません。

私達は、魔法の力や光ではなく、自分たちの心の神殿を開き、女神の悲しみを受け止めることしました。

私達にも苦しみ悲しみがあります。

もちろん、大切な家族を焼き払われた女神の苦しみには及びませんが、その思いを分かち合い、ハートの愛で癒す事にしました。

私は、愛の女神セレーネと大天使サラを呼びました。2人も偉大な愛のマスターです。

私は、彼女たちをお願いして、この森と森にすむ生命達の心を癒し助けてくれるようお願いしました。

私達の心の神殿の光が、マスターに伝わり大きく広がっていきます。

やがて森が、愛の光に包まれた時、女神はゆっくりと立ち上がり、クリスタルの中から出てきました。

彼女は、自分の名前を「メリール」と呼び、水の生命、森の生命をつかさどる女神であり、自分はこの場所に残り、森の再生のために努力することを私に告げてくれました。





○大地と植物の生命を支える女神と出会う

私達とペレーネの旅は続きます。

私達のグループは、宇宙の光のメンバーと星の再生グループであるインドラ神、アグニ神、ポセイドン神、そしてガネーシャと勇者アウディケウスです。

ペレーネが案内してくれたのは、草原の中にたたずむ大きな一本の巨木です。

ここに、惑星のクリスタルがあるようですが、見当たりません。この樹木の根本か地下にあるのでしょうか。

大天使ラジエル様をお呼びして、地下に下る階段を開いてもらいました。

階段を下りると、この樹木の根に守られるようにして、巨大なクリスタルが隠されています。

さて、どのようにしたらこのクリスタルを蘇らせることができるのでしょうか。

私は気の根っこに手をあて、しばらく瞑想します。すると木の精霊が現れました。

まるで「指輪物語」の映画に出てくる巨大な木の生き物「エント（オノドリム）」のようです。

私達は木の根っこに手をあて、そこから光を送ることにしました。

皆で、木の根っこを囲むようにして光を送りますが、この木の精霊からも大きな悲しみが伝わってきます。

「私の森もみんな焼き尽くされてしまった。

私は、この星のクリスタルが、守ってくれたが、みんなこの世界からいなくなってしまった。」

クリスタルが光輝き始めると、オノドリムも元気になっていきます。

オノドリムも、はやくこの世界がもとのように美しい世界に戻ってくれることを願っているようです。

私達は、少しでも早く、惑星のマザークリスタルを見つけ、この惑星にパワーと光を取り戻すことを約束して次に進みます。

○海底深く沈んだクリスタルと海の女神を蘇らせる

次のクリスタルは、どうも海の海底深く沈められたようです。
女神が、重りをつけられて沈められてしまったと、悲しげに語ります。

私達は彼女の案内のもと、海へと向かいます。
今回は、海の中を自由に動き回れるポセイドンが私達をサポートしてくれます。
海も決してきれいな海ではありません。魚たちも見当たらず、ひっそりとしています。

海の中を進んでいくと、海底に大きな裂け目を見出します。
なにか、とてもネガティブなエネルギーが渦巻いているようにみえますが、おそらくこの中に沈められているのは間違いないでしょう。

ここは危険なので、私とポセイドンだけが、この海底の亀裂の中に入ります。
予想していたように、止めどもないネガティブな感情やエネルギーが押し寄せてきます。
海底に巨大なクリスタルがごろりと横になっている様子が見えてきました。
ポセイドンにお願いして、そのクリスタルを拾い上げ、共に仲間のもとに戻ります。

海底の裂け目から出てくると、少し離れた平たくなっている場所に、クリスタルを置き、みんなで取り囲みます。
クリスタルを活性させるスイッチを使い、光を送ると、中から海の生物たちが出てくるようにみえます。
私には巨大なクジラやイルカの姿が見えますが、他のメンバーには大きなカメです。
ただ、このクリスタルの奥に眠る女神がまだ目覚めてきません。とても深く傷ついているようです。

ここでメンバーからの提案があり、クジラやイルカの声聴かせることにしました。
クジラはこの海のエネルギーを整える働きをしますし、イルカの声は人だけでなく、多くの存在を癒します。
私は先ほどクリスタルの中から出てきたクジラやイルカたちに、このクリスタルの中にいる女神を癒してくれるようお願いしました。そして私達も、クジラの声を使用した音楽を使用して祈りました。

○星の生命を支える海の神殿が創られる

やがて、海の女神が目覚ましてきました。
彼女は、この星の海や大地の意識をつかさどり、惑星を構成する自然の力をつかさどる女神だという事です。
この女神様は、この星にとって大切な働きをしていることがわかります。
私は、この地に女神様のために神殿をつくってはどうかと提案しました。

女神様は、神殿を作ることにとても喜びを感じられたようで私達に感謝の気持ちを伝えられました。
私はすぐに、水の女神サラスパティ様とホビット達を呼びました。

私達は、この海底にサラスパティの水の神殿と同じような神殿を作り上げました。
そして女神の要望に従い、この神殿の前後左右にクリスタルの柱をたて神殿の強化を行います。
またこの海の女神もだいぶ傷ついているようなので、この神殿に癒しの泉を作ることにしました。

ペテルギウスのダイヤモンド PART11 リゲル星の7つの次元と7つのクリスタル



○リゲル星の7つの次元と7つのクリスタル

その間海の女神は、このリゲル星のマザークリスタルとそれを助ける7つの次元のクリスタルのことを話してくれました。

女神の話によると、以下のように7つの次元と7つのクリスタルがあるそうです。

1、天空のクリスタル

リゲル星の最も高い次元にあり、惑星の意識と生命の意識を一つにする。天空にあり、マスターはまだその中に隠れている。

2、感情のクリスタル

生命を豊かに成長させるために、感情をつかさどっていたマスターによるクリスタル

この2番目のクリスタルのマスターが、自らの感情におぼれ、この星を支配しようとたくらみ闇に落ちてしまった。現在は暗い洞窟の中に閉ざされている

3、意識のクリスタル

生命達の意識を進化させ、発展させることを目的としたマスターであったが、感情をつかさどるマスターとの争いの中でこのリゲル星を離れて、ニハル星に移ったようです。ニハル星で支配欲のために、自らも闇に落ち、ニハル星を荒廃させてしまった。現在は、ふたご座のカストル星において、トート神のもとにいる。場所は岩山の迷路がある高台でクリスタルは開かれている

4、動物たちの生命をつかさどるクリスタル

動物や知的生命体を生み出す働きで、最初に現れた女神です。

クリスも輝きをまし、女神も元気です。小人と巨人族に守られた地下の洞窟に居ました。

5、森の生命、植物や水の生命を守るクリスタル

マーメイド達が守る湖に隠れていた女神。彼女の守る森や植物、動物たちは闇の支配を受けたマスターによって傷つけられていた。自分の湖にて森の復興に力を注ぐ。

6、生命ある物たちを守るクリスタル

すべての生命達に繁殖力と生きていくパワーを供給する役目。木の精霊オントの形で現れ、クリスタルをも持っている。

7、星の生命力・エネルギーの再生をつかさどるクリスタル

深い海の中で、星の意識と深く結びつき、エネルギーの再生にかかわるマスター。海底の深みから助け出され、現在、海底神殿に住んでいる。クジラやドルフィン、マーメイド達と共にいる

○意識のクリスタルのマスターを呼び戻す

海の女神の話聞いて、私達が次に行ったことは、意識のクリスタルのマスターを蘇らせることです。

リゲル星の高い丘の上にクリスタルがありましたが、そこにはマスターはおらず不在の状態です。

その下にある、星の各地につながる迷路のような洞窟も、闇の中・・・。

2番目にある、感情のクリスタルをつかさどるマスターは、闇と一つになっておりどのような状態になっているか、想像もつきません。

ましてや、一番上にある天空のクリスタルのマスターは、感情のクリスタルのマスターに幽閉され所在さえも分かりません。

そこで思い出したのが、このリゲル星からニハル星にわたり、ニハル星を支配しようとして闇に落ちたマスターの事です。

ニハル星で岩と化した宇宙船の中で、闇によって幽閉されていたマスターを、私達は救助し、トートに預けたことを思い出しました。

もしかしたら、このマスターがリゲルの意識のクリスタルを守るマスターかもしれないという事で、私達は意識のクリスタルの前に立ち、トート神を呼び出し、そのことを尋ねました。

すると、予想どおり、トート神に預けたマスターは、この意識のクリスタルを守るマスターでした。

そして、彼はトート神の弟子だったようで、トート神も彼が救出され、再び意識のクリスタルのマスターに戻ることを望んでくれました。

きっと、トート神のもとで癒され、トート神の名誉をかけて再教育を行った様子です。

彼をメンバーの一人が、トート神のカストル星まで迎えに行き戻ってきました。

彼は、今まで自分が行ったことを深く反省し、リゲル星のマスターに深く謝罪したいと述べ、これからは間違いないように正しい心で、この意識のクリスタルを守ることを誓ってくれました。

○リゲルで吹き荒れた闇の支配

そして彼は、このリゲルの星で何が起こったのかを詳しく話してくれました。

それによると、2番目の感情のクリスタルのマスターが、自らをこの星を支配しようという欲望にかられ、自分自身も、彼と一緒にこの星の他のマスター達を支配することを始めたようです。

感情のマスターは、天空のマスターを強引に連れ去り、塔の高い場所に幽閉し傷つけたほか、他のマスター達にも、暴力的な支配をおこないました。

マスター達はそれぞれ傷つけられることを恐れ、自らのクリスタルの中に閉じこもって逃げてましたが、そのクリスタルを守っていた巨人たちやマーメイド、樹木の精霊たちは傷つけられて、その命を失った者たちも多くいたのです。

しかし意識のマスターは、感情のマスターが、この星の自然や生き物を破壊してしまうようなやり方には疑問を持っていたそうです。

感情のマスターが、どんどん闇にとらわれ暴力的な支配をさらに行い始めたので、意識のマスターは自分の身の危険を感じ、リゲル星を逃げ出しました。

そして、ウサギ座のニハル星へと渡り、ニハル星を支配しようとしたのですが、自らの心も闇にとらわれたため、ニハル星を闇の星とし、自らも闇の中に閉じ込められてしまったようです。

自分が管理しているこの丘の中にある通路は、この星のそれぞれのクリスタルのもとに続く道であり、またマザークリスタルへと続く道もあります。

きっと、闇に閉じ込められたマスターは、この通路の先の朽ち果てた神殿の中にいることでしょう。

意識のクリスタルを守るマスターは、自らの心の中を振り返るように、このリゲル星で、自分たちが起こしたことを話してくれました。

私達は、まさにこの地球も同じ状況にあることを感じずにはいられませんでした。

私は、この意識のマスターのもとに、創造主と光のマスターを呼び寄せ、彼の心が再び闇に支配されないように、メンバーと共に祈りました。

そして、この意識のクリスタルのマスターと共に、天空のマスター、闇に落ちた感情のマスターの救出に出かけることにしました。

ペテルギウスのダイヤモンド PART12 天空のマスターと感情のマスター

○天空のクリスタルのマスターの救出

私達は、意識のクリスタルのマスターの案内で、天空のマスターのもとに行くことにしました。

それはとても高い塔のようです。

一番、塔の高い部屋に、天空のマスターが閉じ込められているようです。

まず騎士団やアウディケウス達に塔の中を調べてもらい、大丈夫そうなので私達も入ります。

マスターは、私達が入っていったときは鎖につながれ、ぐったりとした様子で横たわっています。

すぐに、元気を取り戻す薬を与え、メンバーで彼女を囲み、意識を取り戻すように祈ります。

アスクレピオス様をお呼びして彼女の様子を見てもらい、すぐにケンタウルスにアスクレピオス様の「癒しの神殿」に運んでもらいます。

天空のマスター自体が闇にその心を支配されている様子はありませんでしたので、きっと彼女は自分の純粋性を守るために、最後まで戦った様子です。

マスターはとても髪の毛の長い女性でしたので、塔の上のラプンツェルと名付けました。

私達はこの塔の中にあるクリスタルを見つけだし、いつものようにクリスタルを活性化させるスイッチを使用します。

ただし、クリスタルが高度になればなるほど、単純なスイッチでは、役に立たなくなるので、陰と陽のエネルギーを使用したり、6大元素のエネルギーを使用したりします。

クリスタルに少しずつ光が戻り始めました。

私達は、このクリスタルの周りに、創造主とマスター達の光を呼び込み、クリスタルを活性します。

やがて、このリゲル星のマザークリスタルが活性化された時、このクリスタルもさらに輝くことでしょう。

○闇の神殿と闇の渦巻きを光りに満たす

天上のクリスタルとマスターを救出し、次に感情のクリスタルの元へと私達は、進むことにしました。

恐らく、このリゲル救出の最大の山場です。さすがに私も胸がドキドキします。

私達は、山の中にある一本の暗い通路を進みます。

そして行き着いた先は、半ば地下に埋もれたような崩れかけた神殿。

地中に埋まっている神殿を救い出すために、ホビットたちがマカバ型の箱で神殿の深い部分まで包み込み神殿を浮かびあがらせます。

マカバ型の箱は、光の箱ですので闇を吸収し、どんどん光に満たします。

すぐに、その神殿の中に入るのは危険なので、周りから光のワンドを使って光を送ります。

その神殿の下には、大きな闇の渦巻きが、黒々と見えます。
マーリンたちの魔法使いグループも闇が広がらないようにサポートをさせていただきます。
その間、トート様が、闇の渦巻きが大きくならないように時間を止めました。

不動明王様やツバーン星のマスター・ドラゴン、祓戸大神達が闇の浄化にかかります。
そして続いてペガサス騎士団、さそり座騎士団、太陽騎士団様、アウディケウス様などの騎士団の精鋭部隊が中に入り、闇と光を統合していきます。

さらに神殿だけでなく、闇の渦巻きを持ち上げ、光の箱におさめていきます。
魔法使いの大天使ラジエル様たちがサポートして下さいました。
ポセイドン様やインドラ様、アグニ様が、火の浄化をしていきます。
神殿と闇の渦巻きが、マカバの箱で包まれていきます。

他のマスターたちも、みんなで太陽のエネルギーを送って浄化していきます。
ここで、聖なる光を、闇に満たすために、創造主様たちに来ていただいて、マカバ型のピラミッドの四辺からエネルギーを送ります。
来て下さったのは、ペテルギウス、北極星、アルフェラッツ、天使の星の創造主、太陽の創造主様たちです。
アマテラス様、ツキヨミノミコト様、ベガのマスターたちが神々の光をマカバ型の箱に集めていきます。

○闇にとらわれたマスターの悲惨な姿

闇がだいぶ薄れたところで、私たちが闇の神殿に入りました。
感情のマスターは、神殿の片隅で力なくうずくまり、闇におびえ、恐怖と絶望に取りつかれたように震えていました。
闇によって自分の生命力も吸い取られ、ただ生きているだけで精いっぱいという感じです。
ラファエル様とザドギエル様がマスターを癒します。

私からは、闇を光に統合する、「光の人の遺伝子」と「光の天使の遺伝子」が、傷ついたマスターのハートの中に、
どんどん送られています。
アスクレピオス様に来て、治療をさせていただきます。
傷ついたマスターがケンタウルスによってアスクレピオス様の癒しの神殿へと連れて行かれます。

○感情のクリスタルが再び輝き始める

その間に感情をつかさどるクリスタルが浮上してきます。
そのクリスタルに光を入れていきます。
不動明王様は浄化の炎で、スサノオ様は剣で闇をそぎ落としていきます。
クリスタルの下に、闇のどろどろしたエネルギーがあり、そこを遮断する必要があったのです。
ホビットたちがボードで遮断してくれました。

さらに、闇とクリスタルが接しないように、神殿を外から浄化して、元あった場所へ。

もとは山の頂の中腹あたりにあったようです。

インドラ様、アグニ様、ポセイドン様、ガネーシャ様のパワフルなマスター達が、元の場所に運んでくださいます。
次元を上昇して、元あった場所にクリスタルを戻します。

神殿を固定して、エネルギーをどんどん高めていきます。

トート様が再び活動できる神殿にして下さいました。

マスター・ドラゴンや光のマスター達がたちは、神殿に光を送ります。

神殿を浄化するために光のベールをかけて、闇を一掃して、この次元にしっかりと固定します。

感情のクリスタルに陰陽と6大元素のスイッチをクリスタルにのせ、クリスタルを活性化するエネルギーを送ります。

アテナ様もエネルギーを送って下さり、みんなでそれを受け取ってさらに送ります。

インドラ様の雷のような電気エネルギーも送られ、クリスタルをいっそう輝かせます。

みんなで外に出て、周りを囲み、創造主たちに光を送っていただきました。

今回、このクリスタルを含めて、7つの次元の7個のクリスタルが再び、輝き始めました。

しかし、マザークリスタルを開くためには、すべてのクリスタルのマスターたちが揃う必要があるそうです。

今回救出されたマスターを含め、まだ回復していないマスターたちも多く、マザークリスタルは次週取り掛かることになりました。





○オリオンの三ツ星と賢者の帰還

オリオン座のリゲル星のマザークリスタルを回復させる前に、私達はもう一つ行わなければならないことがあります。

それが、オリオン座の三ツ星といわれる非常に有名な星の光を取り戻すことです。

オリオン座のペテルギウス星の光は創造主の光りで、お父さんのような役目ですが、この3つ星の共通となる惑星意識は、お母さんのような意識です。

この3つ星の役目は、ペテルギウスの生命創造の光をうけとり、調整と進化を行い、リゲル星に送り込むことです。

ただしこの3つの星のマスターは不在で、母親である惑星意識も悲しみに打ちひしがれていました。

この星のマスターは、リゲルのマスターによって闇の支配を受けたウサギ座のニハル星に行き、ニハル星を助けようとしたのですが、それもできず、自ら闇に閉じ込められ、三ツ星に帰ることができなかったのです。

私達は、ニハル星を闇の支配から解放した時に、この3賢者を救い出したことを、ペテルギウスの創造主に伝えました。

創造主はとても喜んでくださり、その賢者たちを3つ星に戻してくれるようお願いしてきました。

私達はすぐにオリオン座の3つ星の中央にあるアルニラム星へと生き、惑星意識であるマザーと対面し、3賢者の帰還の事を伝えました。

マザーにとってこの3賢者は、実の子と同じです。涙を流して喜んでくれました。

私達は、アスクレピオス様をお願いして、3賢者をアルニラム星へと連れてきてもらいました。

3賢者も、だいぶ元気になった様子で、お母さんとの再会を喜んでいました。

きっと、私達の意識では計り知れないくらい長い年月を、孤独と悲しみに耐えて生きてきたのでしょう。その様子を見ている私達も、自然と涙があふれます。

私達は、オリオン座の三ツ星、アルニラム星、ミンタカ星、アルニタク星のクリスタルを活性化し、リゲルが回復した時に、今迄通りペテルギウスの創造主の光を、しっかりとリゲル星に流すことができるようにしておきました。

これでリゲル星のマザークリスタルが回復した時に、ペテルギウスの光りが、新たな生命創造のしくみを生み出すことができるのです。

○意識のクリスタルを創造主の光で活性させる

前回のツアーから、1週間置いて、ついにリゲルのマザークリスタルへと向かう日がやってきました。

ただし、マザークリスタルを開くためには、7つのクリスタルとマスターが光でつながれ、気持ちを一つにしないと開きません。

まずは、アスクレピオス様にお願いして、療養中の2人のマスターを、リゲル星に戻してもらいました。天空のクリスタルをつかさどるラプンツェルと闇に落ちた感情のクリスタルのマスターであるピレートです。

まずは、感情のクリスタルのピレートと意識のクリスタルのマスター・イーグル、そして天空のマスター・ラプンツェルが久しぶりに再会しましたので、闇に落ちた2人のマスターが、天空のマスターに深く謝罪します。

その後、私達は、意識のクリスタルの高台にある通路を使用して、この星の天空の塔へと向かう事にしましたが、その前に、この意識のクリスタルを、本来あるべき場所へ戻し、クリスタルの強化を図る必要があります。

マスター・イーグルの指示のもと、私達はクリスタルをもとの場所へと戻し、クリスタルを活性化します。今回のクリスタルは、他の星のクリスタルに比べても、とても高い波動を保つ必要があるので、クリスタルの通常の活性に加えて、この宇宙の創造主の力を借りて、さらなる活性とクリスタルの次元上昇を行いました。

またクリスタルにふさわしい神殿も合わせて作ることにしました。

こちらは、ガイアのホビットや魔法使いチームが担当です。すぐに立派な神殿がたちました。

すると、この神殿につかえていたのでしょうか、神官たちがどこからともなく現れてきました。

この意識のクリスタルの神殿の機能が戻ってきたようです。

○天空のクリスタルから虹の光をかける

次に向かったのは、天空のクリスタルの塔です。

その中ほどにクリスタルが配置され、活性と次元上昇を行いました。こちらの方は、なかなか輝きに戻りません。創造主の光を呼び込んだり、私の人と天使の光の遺伝子を与えても、完全な輝きには戻らないのです。

メンバーの一人が、塔の中の様子を見て、とてもごみのようなものが多いことやクリスタルのそばに、毛むくじゃ

らのぬいぐるみのようなものがあることに気づきました。

キャラクターのムックのような毛むくじゃらの存在に、メンバーが話しかけると、クリスタルから、昔の映像が写し出されました。

それは、闇に落ちる前に、天空のマスター・ラプンツエルと毛むくじゃらの存在が交わっている映像のようでした。

そして、毛むくじゃらの存在は、ラプンツエルの命を守るソウルメイトであるかのような存在でした。

私は、その存在に、天使たちによるエンジェルレイを行うと共に、ラプンツエルにその毛むくじゃらにキスをするように言いました。

(メンバーからはブーイングが起こったのですが、デイズに—映画では良くあることです 笑)

すると毛むくじゃらの存在は、みるみる内にその姿が変わり、人の姿に変わりました。

そして、近くにあったごみや置物が、ウサギやリスなどの動物に変わり、塔全体がディズニーの映画の魔法にかかったように明るく美しいファンタスティックな世界へと変わりました。

私達は、一度天空の塔を出て、外からクリスタルの次元上昇のスイッチを押すとともに、再度創造主の光をクリスタル化した塔に呼び込むと同時に、ペテルギウスのダイヤモンドに属する星のエネルギーを呼び込みました。

天空の塔はどんどん輝きを増し、塔の先からリゲル星の他のクリスタルへ光が届きます。

他のクリスタルのマスターも、天空のクリスタルが目覚めたことに気づいたことでしょう。

私達は、天空のクリスタルから、虹色の光を他のクリスタルにかけ、リゲル星のクリスタルを一つにつなぎ、エネルギーを高めていきます。

するとこの天空の塔のさらに上に大きなマザークリスタルが、うっすらと見え始めました。

ペテルギウスのダイヤモンド PART 1 4 リゲル星の王様の帰還

○リゲル星の闇の種を除去する

闇に支配された星を、復活させるときに、忘れてはいけないことがあります。

それは、惑星の心臓部に入り込んだ闇の根を取り除くことです。

闇のエネルギーの最終目的は、星の生命力を吸い尽くすことです。

闇の支配を受けた星は、荒廃してしまい植物たちも育たなくなります。

それは、闇の力が、惑星の中心部におよび、根っこで惑星の星のエネルギーを奪い去るからです。

地上やその星のスピリチュアル世界がもとに戻ったからと言って安心できません。

私達は、アスクレピオス様とその特殊部隊にお願いして、惑星の心臓部に絡まった闇の根を除去してもらいます。

特殊部隊は、マスターイーグルと共に、地下に降り惑星の心臓部に特殊な機械を取り付け、アスクレピオス様が、内視鏡のようなもので機械を操作し、闇の根っこや種を取り除きます。

まるで外科手術のようですが、このような方法でないと、闇の根は除去できないようです。

○リゲル星の王の苦難

私が気になっていたことの一つに、このリゲル星の王様の存在があります。

リゲル星の救出を行うときに、その姿が見えていたのですが、どのような存在かわかりませんでした。

ペテルギウスの創造主に聞くと、それは、リゲルの霊界を統治する王様だという事でした。

私達は、ラプンツエルの天空の塔におもむき、ラプンツエルの導きで、霊界の上の次元にいき、白い繭の中に閉じこもっているような王様を発見しました。

王様は自分の意志で、その中に閉じこもっているようでした。

王様を囲んで、王様に光と愛のエネルギーを満たし、創造主の方々の光も導きました。

すると、王様を囲んでいる白い繭のようなものが、どんどん溶けて王様が姿を現します。

王様は、天空の塔のマスター・ラプンツエルのお父様みたいです。

彼女がとても喜んでいます。

私には、これだけの高次元にいる人が、闇の影響を受けるのだろうか、不思議でなりません。

王様は、私の問いに答えて語ってくれました。

「私は、下の世界にいる者たちの支配者として、下の者達を自分の意志に従う「駒」のようなものと考えてしまった。

それ故に、自分自身が傲慢となり、支配欲にとらわれてしまった。

それが闇の始まりだった。私がそうなることによって、私の下にいるマスター達にも支配欲が目覚め、この星を混乱に導いていったが、私には止めることができなかった。

そのために、私は、自ら白い繭の中に閉じこもり、これ以上闇と化すことを免れてきた。

皆さんのお力により、私だけでなく、私の娘やリゲル星も救ってください感謝しています。」

リゲル星の王様は、涙ながらに語ります。

私は王様に、王様のクリスタルを活性化する必要があることを伝えたところ、王様は喜んで、クリスタルのもとに案内してくれました。

○王様のクリスタルが輝き、リゲル星のさらなる次元上昇が起こる

王様のクリスタルのもとにたどり着くと、王様のクリスタルは確かに曇っており、輝きが足りません。この高次元のクリスタルを、私達が輝かせることができるか、心配でしたがいつもの次元上昇のスイッチと創造主の光で輝き始めました。

王様にも、創造主の光を共に浴びていただくことで、クリスタルが本来の輝きを取り戻してきました。王様のクリスタルが、輝き始めることで、天空のクリスタルだけでなく、すべてのクリスタルが、今まで以上に輝き始めました。

リゲル星全体の輝きもまし、星の次元が、もう一つ上に上がっていくようです。

私達は、これでリゲル星が本当の輝きを持ち始めたことを確信しました。

そして、同じころ、リゲル星の根っこをとり除いていたアスクレピオス様のグループも処理を終わったようです。

私達は、新しく創造された世界を見て回るために、マスターと共にリゲル星のいくつかのクリスタルとマスターを訪ねます。

皆さんとても喜んでくれて私達を迎えてくれました

私達は、ペテルギウスでの役目を終え、地球に帰ることにしました。

帰る時は、このペテルギウスのダイヤモンドの生命循環の光を、シエンロンや天使達にも手伝ってもらい、地球まで大きな光として導くことにしました。